



僕は、学校からもらったお便りに「広島平和式典参加者募集」とあり、原子爆弾で罪もないのに亡くなった多くの人々の事をずっと前から学びたいと思っていたので勇気を出して応募してみました。思いがけず参加させていただけることになり、折り紙の鶴を折りながら、待ちどおしく、とても楽しみにしていました。八月五日、ついに広島へ行く日になりました。広島は思っていたとおり「広島」という感じが出ていて、なぜかつかい感じでした。こんな平和な街に、七十年前原爆が投下されたなんて想像できませんでした。

おいしい広島焼きを食べてから、原爆ドームを見学に行きました。こんなにボロボロになるほど原爆の力は強いのかと、本当に驚きました。その後、原爆資料館を見に行きましたが、当時の人が焼けこげたイメージの人形や、きのこ雲の写真、人の影だけが残された石、投下された八時十五分で止まった時計など、「本当にあった事なのだ。」と、その恐怖に言葉を失うほどの衝撃を受けました。

僕は日本の偉い人達が間違った考え方をしていたために、幸せに暮らす多くの人々が犠牲になった事がかわいそうだと思います。また、「間違っている。」と言葉に出すことも許されなかったと知り、今の時代に生きることが幸せなことだと感じました。次の日、平和式典に参加して多くの人々と一緒に平和への誓いを込めて八時十五分、もくとうをしました。

今回、原爆や戦争について色々なことを見聞きし学んだことを、忘れたくないと思います。どんな理由があっても、多くの人の命が一瞬でうばわれる原爆は絶対に、二度と地球で使ってはいけないと思います。小さいことですが身近な人や動物や自然を大切に生きていきたいです。貴重な機会を作って下さり、本当にありがとうございました。優しく引率して下さい、初めて会う人が多かったけれど、安心して旅ができました。



八月五日と六日、広島に平和を学びに行きました。二日間で、原爆ドームや平和記念資料館を見学し、平和記念式典にも参加しました。充実した二日間でした。

中でも一番印象に残っているのは、平和記念資料館です。その中でも「人影の石」からは、原爆のおそろしさを深く感じました。「人影の石」の石段には、黒い影のようなものがありました。それは人が腰かけていた場所で、原爆の熱線によって周りが白っぽく変色したのに対し、人によって遮られた部分が黒っぽく残ったのだそうです。その人は、逃げることもできず、石段に腰かけたまま、一瞬にして死んでしまったのだらうと思うと、原爆がとてもこわいです。

今回、広島の子供達が核兵器廃絶を目指して運動をしているのを目の当たりにしました。私もそのためにできる事があれば幸いです。

